

## 小松島西高校「ミニカフェ」 生徒が調理や接客を学ぶ

小松島西高等学校の生徒が地域住民らに食事を提供する「ミニカフェ」が2月11日に同校で開催され、大勢の家族連れでにぎわいました。

同校食物科の2年生35名が調理や接客を行い、和食と洋食の2種類のランチのほか、手作りのパンやケーキ、焼き菓子を販売しました。

同校のミニカフェは、1年に4回（食物科2年2クラスと3年2クラスの計4クラスがそれぞれ年1回）開催されており、今回担当したクラスの生徒たちは、初めてミニカフェを経験し、接客などを実践的に学んでいました。



ケーキの注文を受ける小松島西高校の生徒



主催者の一人として挨拶をする  
小松島市社会福祉協議会の稲田会長

## 第50回小松島市社会福祉大会 地域福祉活動の推進を誓い合う

小松島市総合福祉センターで2月14日、「第50回小松島市社会福祉大会」が執り行われ、福祉関係者や市民ら約300名が参加しました。

式典では、地域福祉の向上に功績のあった個人54名・2団体に表彰状や感謝状が贈呈されました。式典の最後には大会宣言が行われ、地域福祉の増進に全力で取り組むことなどを参加者全員で誓い合っていました。

また式典後の記念講演では、講談師の田辺鶴瑛さんが自身の介護体験や認知症高齢者の支援のあり方などについて講演され、参加者は田辺さんのユーモアを交えた温かみのある語りに聴き入っていました。

## 新中学校を共に支えるため、立江中・坂野中の卒業生がスポーツで交流

立江中学校と坂野中学校の卒業生有志が企画した「新中学校サポートカップ」が2月14日、立江中学校で開催され、軟式野球、軟式テニス、バレーボールの3種目の対抗戦が行われました。

このスポーツイベントは、立江中学校と坂野中学校が統合し開校する新中学校「小松島南中学校」を、両校の卒業生と地域とで共に支えることを誓い合う目的で行われました。

県内外から参加した約200名の卒業生は、両校の校章などがプリントされたおそろいの記念Tシャツを着て一緒に汗を流し、母校や地元への熱い思いを共有しながら交流を深めていました。



立江中学校の体育館で記念撮影をする  
立江中・坂野中の卒業生



配備された軽可搬ポンプ一式

## 「助成事業」で軽可搬ポンプを配備

このたび、一般財団法人自治総合センターの「コミュニティ助成事業」により、D-1級軽可搬消防ポンプ一式を購入し、市内の自主防災会女性消防隊へ配備しました。地域の防火防災活動や火災予防啓発活動に活用します。

この事業は「宝くじの助成事業」により実施しました。

